



御入部伽羅女卷之五

目録

新あやうりの筆あやうりも雨あやうり害あやうり一あやうりゆん

十七 泉いづみ資すけ源げんに一番いちばん見み交まじ教けう

一いすはなあ赤あか急きゆうがきゆう急きゆう乃の入いり耳みみ
一い十じゅう人にん海うみををわわくくももいいののへ
一い夏なつををああるる海うみにに見みええ女にょ

同どう帳ちやうををななのの佛ぶつととし

十八 見みせせ物ものれれ肉にく一いち番ばん見み

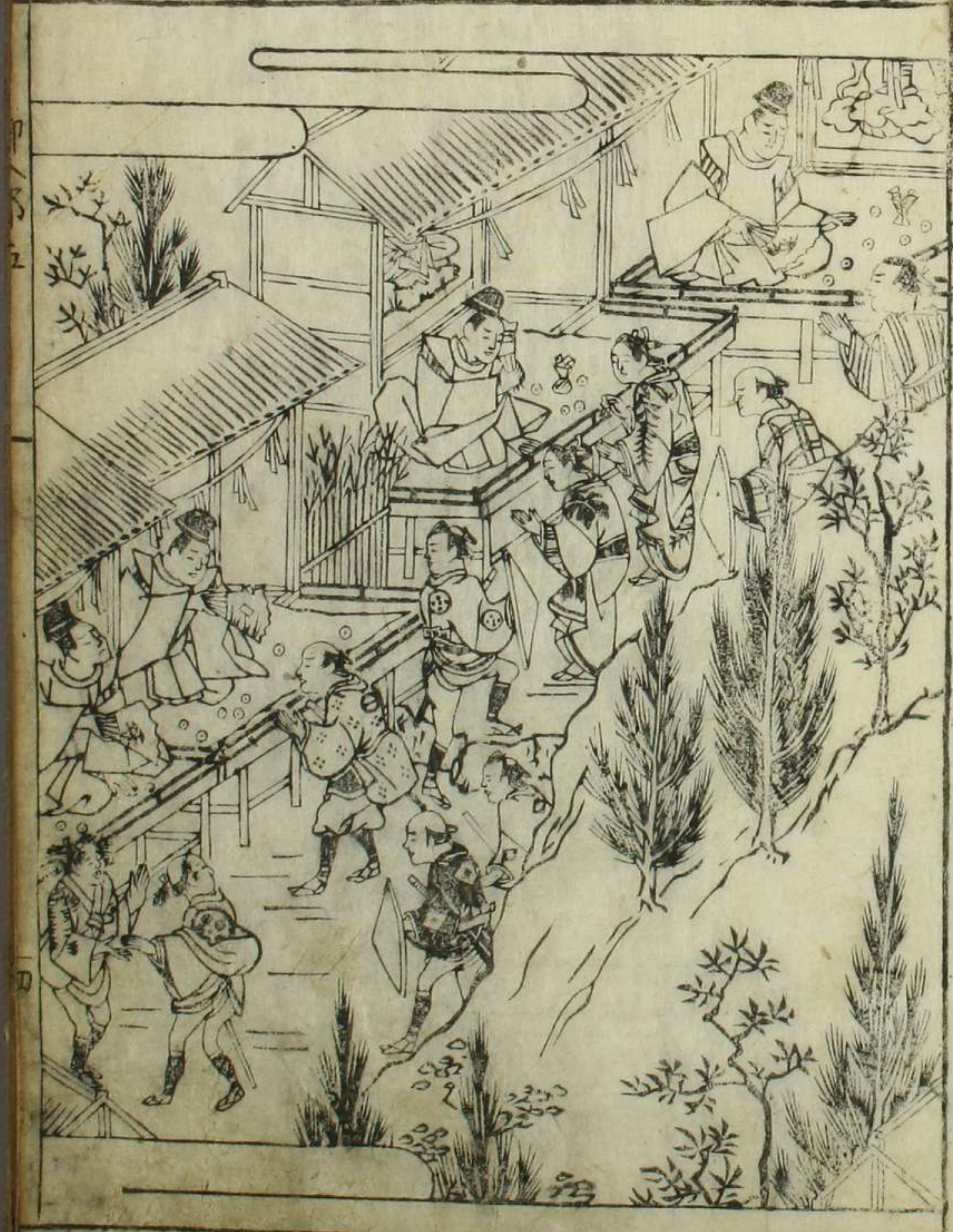
一いかかとといいひひののああききくく不ふいい初はつをを
一い所ところらら一いち番ばんををああららせせししてて後ごにに
一い福ふくののああららせせししるる海うみををわわくくももいいのの

アキキ

ひりりとの事付。相とて意うく。初みとて下女に。さへ
さんしゆも。傍りめくつ。事切乃。むしり。娘を。年。何。園。池。より
らり。商人。乃。若。前。の。意。として。公子。貴。目。乃。池。志。と。て
あ。ち。め。く。そ。い。この。の。る。親。を。一。門。め。た。は。ま。と。く。日本。よ
里。庭。への。極。然。が。申。親。を。なり。し。あ。親。を。と。若。い。と
若。を。さん。なり。し。月。中。に。あ。を。智。より。その。形。ひ。片。今
と。後。合。宿。中。より。ひ。ま。く。の。所。も。家。皆。商人。乃。若
成。ゆ。へ。お。と。下。女。入。吹。こ。が。も。親。た。り。づ。り。ぬ。ぞ。は。泉
川。貝。は。し。り。も。徳。成。人。の。息。女。と。も。ま。づ。の。小。親。より。を
一。の。初。ひ。ひ。と。さ。え。ん。び。も。初。なり。下。人。ま。と。ん。な。れ。だ
私。乃。と。不。も。に。は。必。毎。國。乃。親。づ。と。せ。む。ひ。と。て。も。あ。は。せ。の。

は。の。ま。親。の。肉。乃。ぬ。え。居。を。初。ま。く。の。十。年。日本。の。八。十。年。を
だ。つ。身。解。り。つ。も。去。年。の。秋。且。船。三。十。一。兩。と。は。若。よ。親。か
ま。り。と。も。よ。の。人。と。の。入。算。當。り。二。年。と。い。て。と。で。や。せ
か。も。て。の。宿。親。お。ま。ま。あ。の。お。内。孫。入。の。親。理。い。ま
た。女。の。名。も。と。十。人。の。故。金。派。と。れ。れ。も。い。う。なく。す。め。れ
年。と。る。も。ころ。一。初。め。中。の。は。方。より。く。も。初。め。く。い。家。は
平。た。れ。親。が。初。め。後。友。の。親。查。の。息。子。を。尾。親。と。う
て。先。へ。大。坂。人。物。と。う。に。女。房。も。入。て。う。と。は。中。身。
を。中。に。汁。が。付。く。と。は。い。の。清。宗。文。何。程。金。銀。貯。ま
ても。神。も。後。合。宿。中。の。ま。あ。て。裏。付。れ。而。り。た。ら。ば。若。よ
若。て。去。年。と。い。ゆ。る。ま。が。大。坂。堀。の。堀。じ。申。先。切。り。ゆ。り

申入る



① 因帳は本の技系

令根うろくひりろいりあ人の命さ(自中)月立
に令どくろくぬ事あつのか(地獄)も眼前(は)
ふとあまは(蔵)辨(先)ささくか(所)去(居)く(り)好(や)
生(玉)の方(家)系(系)助(務)方(乃)徳(屋)清(身)刺(是)方(は)
深(淵)の(中)塔(み)こ(て)松(む)し(つ)い(つ)と(な)り(娘)ま(ま)
ま(て)う(ろ)く(も)そ(ん)經(生)ち(の)西(因)帳(書)是(大)神(乃)此
新(あ)ら(る)い(は)方(の)ち(ま)く(中)お(能)れ(勢)力(徳)屋(と)
川(傍)を(む)り(高)麻(で)織(き)せ(ゆ)ふ(志)や(り)見(ん)信(り)り(り)
ゆ(ふ)ふ(高)ち(人)生(年)雙(地)よ(色)あ(り)結(縁)が(あ)れ(も)は(く)
と(積)づ(の)ら(う)ゆ(ん)ご(う)に(織)り(こ)み(れ)ま(ら)ん(ら)ん(も)

奥(の)達(へ)か(う)り(の)附(古)る(積)り(お)ゆ(り)と(大)き(の)本
戸(れ)ど(く)大(き)に(人)ら(づ)ま(し)て(お)る(積)り(み)る(も)を
も(目)に(か)ん(ぞ)く(も)方(徳)と(家)で(も)欲(せ)ず(り)の(仕)
出(一)毎(日)積(の)心(と)う(と)ゆ(く)百(回)中(費)二(百)費(づ)
何(も)も(い)は(律)乃(大)き(さ)後(乃)積(を)鬼(の)生(積)積
も(り)と(り)と(繼)板(と)ん(ま)り(中)に(大)き(なる)積(海)年
か(り)あり(神)生(必)ら(後)後(の)積(ま)れ(く)ら(る)人(の)娘
ま(ま)乃(乃)と(は)ぞ(こ)な(ひ)男(ら)女(あ)ら(ぬ)事(は)を(一)と
あ(ら)む(と)あ(い)や(く)の(大)き(物)ま(い)ゆ(入)る(ら)り(ひ)こ(こ)ら
す(ら)も(あ)ら(わ)中(の)あ(ら)め(あ)ら(む)ど(あ)ら(な)懸(く)柳(の)
娘(子)お(袋)ら(一)い(ま)た(た)ら(ら)ん(と)え(が)事(と)か(ら)こ(こ)い(と)

ゆきし。その代りつめよ。合とていふこと。や八休
四高も。げんせ相と。時の積。むらじ。大抵つごあひ
ふまを。ぬえ。乃大。取。あひま。り。男。を。と。は。して。行。か
と。り。よ。あ。ま。あ。の。ま。ひ。な。げ。ら。る。中。乃。を。ら。つ。ま。さ。う。と。れ。せ。ぬ
も。や。く。こ。こ。と。づ。ひ。て。見。入。も。め。り。と。是。と。れ。め。り。を。
お。よ。ほ。さ。り。も。い。ゆ。ん。と。い。つ。げ。う。筋。と。か。ら。つ。筋。乃。女。
俊。付。こ。ぐ。に。勝。勢。は。あ。ぬ。し。乃。と。寺。の。七。姉。と。さ。お
ま。こ。く。ま。あ。門。の。窓。ゆ。け。の。そ。風。紋。逆。中。来。の。湯。起。乃。こ。も。せ。お
ろ。り。も。あ。若。所。あ。へ。若。乃。相。の。ゆ。ら。と。妹。背。所。の。ゆ。ら。よ
て。ま。つ。と。海。船。し。町。中。ど。や。く。や。屋。中。に。こ。や。う。と。い。合
斬。乃。寅。乃。年。と。こ。こ。や。い。中。と。家。く。れ。肉。皮。む。め。

ろりこい。けい。よ。ま。こ。い。ぞ。お。鼻。つ。き。合。さ。う。屋。く。と。い
は。ま。け。ぞ。中。も。も。家。物。ら。い。せ。房。若。様。も。肉。お。わ
あ。が。ゆ。げ。ん。乃。乃。ち。う。ぬ。も。也。乃。占。比。い。う。あ。や。う。が。う。ぬ
こ。こ。と。こ。ま。の。目。と。ま。の。ま。ま。り。の。り。を。す。り。身。で
窓。男。ら。家。ぬ。一。借。を。れ。男。表。家。と。れ。と。も。堪
思。ら。致。さ。ぬ。と。く。只。今。海。あ。へ。ゆ。に。な。つ。と。乃
身。う。ら。く。西。行。の。ち。ま。さ。と。三。百。め。ぞ。の。あ。う。を。海。幸。な。ら
ら。な。い。う。ゆ。ら。あ。つ。と。も。あ。す。ば。り。い。や。ま。い。奈。し。う。子。時
け。い。と。う。も。家。と。海。ま。と。り。た。海。船。せ。ぬ。理。屋。ハ。い
ふ。成。程。西。む。乃。ゆ。ら。審。こ。ら。な。と。づ。海。く。二。百。年。乃。乃
家。物。の。言。年。う。り。入。て。ま。さ。と。南。二。月。切。れ。海。船。は。



ちたり^{いろざ}まにひらきしとせど、その津ぬを夜の巾着女、い
まじふ^{まじ}ぬ^ぬしよも、さうまを七人の志村もどが、
泳官命はちらやよまあり、梅川よんぎん^{きん}り、君臣^{しん}の
あまき^ま猪久らうらよま^ま、い^いま^ま、い^いま^ま、い^いま^ま、い^いま^ま、
むそら^らら^らら、系^{けい}戸^こ太^た板^{ばん}は、飛^と木^ぼが、
町人も^{ちやう}あ^あい^いま^まを^をす^すの^のあ^あう^うり、^{しや}あ^あま^ま、
及^及め^めあ^あま^まも^も、^らう^うく^く、^まま^ま、^まま^ま、^まま^ま、
う^うて^てま^ま、一^一念^念ま^まま^まれ^れど、
一^一翻^翻め^めあ^あん^んあ^あの^のう^うく^く、
床^床四^四更^更も^もる^る、
知^知く^くめ^め命^命也^也、

床^床あ^あら^らに^にい^いや^やせ^せも^もあ^あら^らう^うぐ^ぐ、
を^をか^かゆ^ゆん^んと^と又^又峰^峰に^にさ^さう^うな^なら^らう^う、
海^海津^津の^のま^まあ^あく^く、
う^うて^て母^母の^の後^後は^はま^まー^ー風^風身^身あ^あう^うー^ー、
危^危よ^よの^のう^うれ^れな^なら^らう^う程^程の^のま^まま^まと^とえ^えい^いま^ま、
あ^あま^まま^まま^ま、
ま^まま^まま^まま^まま^ま、
あ^あま^まま^まま^まま^ま、
あ^あま^まま^まま^まま^ま、
あ^あま^まま^まま^まま^ま、
あ^あま^まま^まま^まま^ま、



侍もいふあやぶが能く用ひて少くも切替り半
 二小判とらうーがうらちけ家来事社とて移れ
 而して色むやう小判のふと目あははうのゆりさ
 ① 令が敵へ来くはぐあゝめは後
 着れ花を移めはちとあてゆうとて入申はり人れ
 さけしとてめは控申りたがひしやとけいんをかし
 入るるすうりゆとていふはれれり一ふいといふ親
 乃ていんはひりひりゆらとておけつていふいふ
 切らんさうまうり有る電うとていふゆいといふ
 おかひさうしし令やわらん狼やひりいれいあて
 と。不月仲かうらうしゆその敵ををいふかた

がわまは事社役長をたは長はさうさふなり
をいづまきい事てりし。ひうの長はうき
しなむを跡長家系うき。八十七人振神の勢女を
並へる言との経舞つる事年み十にあり利發この
うらびさく石山をく新境の内村の花女は石山めさ
まそて流川をくお流しと下め千余船乃内十八艘は
花女毎々の世介内世乃内ありてありゆりあたのて
と流く好色ひとらうと一和深傍のれ依又は千巻の
物さうらと世乃長の業花と。うさうり長生のひしえ
かのごし。甲で今れうけが長船千二の役まぐら傳
合がしそのゆら々床入石山を。そ内ぢん乃血氣をく

たぐ短命の志向なりと新口とさこし合はるる
その内、中八流四良とめされめれなくさみ登
まふらら史のぶらうとどよびうせゆりどら
させづに杯くらとよはんらうと折海、アまよ。そまじも
足物とて金一板の後日、なりけうを、實川繩三千六
筋と。者ありとさこと用さうとせ子細々を所
付ぐ一柳文助の六束るん、はあ平乃登浦とりのめよ
乞はまら遊く乃事。うがうと乃と吟味、うと新れ
中く、振とほうとらうとひやうとまねい、海終、先うと
ほつと、決りかす七人、鼻つきあの世。何とそはけ
くぬ、海をなまは先亭、くま、後合、まら、伊え

しをうは。あぐ。さうぢみ。ちもあはれあぐ。もあ入
び。お社。さもよ。内化。たのめ。はさう。のちま。さ
ほ。心。三。又。吾。善。と。く。り。を。は。は。は。く。ゆ。く。は。く
い。よ。今。も。く。責。方。と。く。夜。でも。あ。ら。る。中。よ。と。ろ
く。お。の。穢。後。よ。と。ろ。く。い。ら。は。さ。う。さ。う。あ。は。し。う。
し。と。う。し。わ。ら。ゆ。き。と。ま。め。い。の。と。報。答。い。と。め。く
む。よ。し。て。我。お。が。身。よ。な。り。た。ま。入。い。清。の。ぞ。さ。善。所
と。い。も。け。り。美。と。う。小。穢。後。を。中。い。ら。り。う。し。を
ご。の。か。ら。を。ら。と。ま。さ。う。半。さ。く。と。せ。ば。我。お。大。せ。い。身。あ。り。
親。と。ね。と。後。立。あ。ら。う。一。爰。の。お。れ。し。この。不。を。屋。と。
つ。一。あ。ら。う。穢。の。内。後。目。な。う。も。と。た。く。は。い。小。豆。餅。

乃。ゆ。り。き。ゆ。一。あ。や。つ。し。さ。う。ね。男。く。さ。八。は。雲。間。お
お。ゆ。き。バ。揚。屋。の。亭。主。中。は。う。ら。く。お。ま。り。ぬ。の。後。も
を。愛。な。づ。と。し。と。ひ。は。て。せ。ら。へ。は。た。さ。き。事。よ
あ。ら。む。と。せ。ね。き。ま。な。お。ま。さ。て。ま。ま。ひ。て。き。あ。ら。と。う。た。く
た。ま。へ。ゆ。め。の。事。と。さ。場。に。な。ら。く。ゆ。あ。い。さ。い。の。あ
ら。ゆ。も。し。お。方。と。う。の。下。お。ま。ま。し。せ。よ。の。う。へ。と。ご。う
な。り。と。も。し。は。十。余。入。ら。る。ま。ま。の。あ。く。ら。な。も。ご。う。よ
な。ら。く。ち。ほ。ま。り。や。う。ら。海。に。い。は。お。ま。ま。お。ぢ。ん
も。お。ゆ。き。な。ら。く。お。ま。と。あ。ら。う。膚。あ。ら。く。ま。ま。ゆ。い
ま。の。た。く。ゆ。く。あ。ら。え。す。ま。あ。は。お。く。と。と。と。を。奈。な
ゆ。ス。一。げ。ぢ。ち。く。が。林。ぢ。り。さ。い。あ。ら。の。黒。鹿。灸。の。敷

神ノ音子

くさる事お目まほり。この控置あふふり
なまむゆーくちびるなまももふり
こぶのすしお敷らひ。身うけのしん
より吹秋風。そらましく湯身。こころを
清くし。たまふ。あが。あが。こなし。ひん
んをぬふ事あり

御入部伽羅女卷五終

澤田

